

平成24年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	独立行政法人国立病院機構施設整備費		担当部局庁	医政局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度～22年度		担当課室	国立病院課 国立病院機構管理室長		室長：小須田 幸夫	
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-5 政策医療を向上・均てん化させる			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法(平成11年法律第103号)第46条		関係する計画、通知等	平成22年3月25日厚生労働省発医政0325第66号「独立行政法人国立病院機構施設整備補助金の国庫補助について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	独立行政法人国立病院機構の施設の整備のために要する経費を補助することにより、同機構の業務(医療の提供、医療に関する調査及び研究、医療に関する技術者の研修及びこれらの附帯業務)の円滑な実施及び同業務の推進に資すること。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立病院機構が行う施設整備のうち、①看護師養成所、地域医療研修施設等の直接診療収入と関連性のないもの、②神経・筋疾患(筋ジスを含む。)施設、重症心身障害児(者)施設等の国が担うべき医療に関するもの、③耐震化及び防災対策にかかるもの、④旧国立病院等再編成計画に伴う土地の購入及び国から承継した借地の購入にかかるもの、⑤災害復旧事業にかかるもの、⑥アスベスト対策にかかるものについて、必要と認める額について補助を行う。 (補助率② 国1/2、②以外 国10/10)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	3,320	3,217			
		補正予算					
		繰越し等	330	1,002	2,538	1,852	
	計	3,650	4,219	2,538	1,852		
	執行額	3,600	4,105	2,120			
執行率(%)	99%	97%	84%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値(年度)
	施設整備についての成果は、整備の完了であり、定量的な成果指標の設定は困難である。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	施設整備についての活動を、定量的な活動指標をもって設定することは困難である。		活動実績(当初見込み)	-	-	-	-
				(-)	(-)	(-)	(-)
単位当たりコスト	- (円/)		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	-	-	-				
	計						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	独立行政法人国立病院機構法第3条に定める国立病院機構の目的については、優先度の高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	独立行政法人国立病院機構法第3条に基づき、国の医療政策として国立病院機構が担う事業について予算措置されている。
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	—
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	—
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)を踏まえ、契約の徹底した適正化に取り組んでおり、競争性、透明性は確保されている。
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	独立行政法人国立病院機構法に定める国立病院機構の目的を遂行する実効性の高い手段と考えている。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	—
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	—
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	—
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	—
○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	独立行政法人国立病院機構法第3条の目的に沿って活用されている。	
点検結果	事業の目的や必要性等について精査した結果、現段階では、特段問題はない。		
予算監視・効率化チームの所見			
			—
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
			—
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	100

厚生労働省
2,120百万円
(平成22年度からの繰越分)

※ 補助率
特殊疾患施設 1/2
それ以外の施設 10/10

[補助]

独立行政法人国立病院機構
2,120百万円

国立病院機構が行う施設整備に必要な経費
(特殊疾患病棟、研究、研究施設、耐震整備
等)

独立行政法人国立病院機構病院
2,120百万円 他9施設

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設費	非診療収入部門、特殊疾患医療等の 施設整備に必要な経費	2,120			
計		2,120	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ナカノフードー建設	重症心身障害児(者)施設整備(建築)	169	3	76.93
2	京葉工管株式会社	重症心身障害児(者)施設整備(機械)	98	3	99.74
3	栗原工業株式会社関東支	重症心身障害児(者)施設整備(電気)	54	9	65.76
4	(株)久慈設計	重症心身障害児(者)施設整備(設計委託)	4	5	96.50
5					
6					—
7					—
8					—
9					—
10					—